

白谷電子 株式会社

持ち運べる
超小型スポット溶接機は
医療分野にまで進出

納期相談 コスト相談 オンライン技術 メイジンジャパン 試作可小ロット 量産対応



2010年12月フルモデルチェンジした小型スポット溶接機『ミニミニウェルダー』

新たなニーズも開拓
フルモデルチェンジした
『ミニミニウェルダー』

電気の街、門真市の商店街に並ぶ白谷電子。家電部品の生産を中心にユーザーの信頼と実績を積み重ねる傍ら、独自の技術に磨きをかけ自社製品を開発してきた同社。現在の主力商品、超小型スポット溶接機(静電蓄勢式抵抗溶接機)『ミニミニウェルダー』シリーズは、微細金属の溶接を手軽にでき、連続・可変スポット溶接に高い信頼性と性能を有している。小型で軽量であることはもちろん、通電バースが非常に短いため、素材の焼け・変形が少ないことが特長だ。

1987年のリリース以降、さまざまな大学・企業の研究開発室、微細金属加工のものづくり現場での使用実績を持つ。近年では心臓・血管の大動脈瘤手術を行う医師が手術に使用するステントと言われる器材溶接に利用。血管の中に入るほどの繊細な道具を加工するのに、手軽な小型溶接機は必需品だという。医師自身が機材を使いこなし、手術ごとに



『ミニミニウェルダー』を使用し、手術用器材の溶接を行う医師

カスタマイズすることが可能なことから、医療論文にも同商品の名は登場している。2010年12月には、発売から20年近いロングセラーの同商品を、既存顧客の声をもとにフルモデルチェンジ。制御部をデジタル化、能力の向上、溶接のスピードアップ等、精度を高めた。デザインも一新し、今後はより幅広い「ものづくり現場」での新規需要を見込んでいる。

また、昨年からホームページ制作にも再注力。新たな問い合わせや受注が舞い込み、小型溶接機の需要の手応えを感じているという。

「白谷でなければ!」
と想っていただけの商品をつくり続ける

自社製品として、大阪府防犯協会連合会の防犯器具の認定を受けている簡易型小型カメラ(CCD監視カメラ)『ばん・見くん』は手の平サイズでありながら鮮明な画質を実現、ドライバーひとつで取り付け可能な商品として、注目度も高い。その他、非接触温度計測定型赤外線センサー(美理容機器に使用)の単結晶ウエハーの切断加工から、ユニット完成に至るまで行うことも可能な同社。こうした製品の一貫生産、部品調達・ハイテク機器の回路設計・組立等、ソフト&ハードの両面からカスタマイズオーダーが可能な点は大きな強みだ。

21世紀、ますます高度化・多様化し続けるエレクトロニクス分野。より幅広くなる顧客層のニッチな需要に応えるため、日々の努力を惜しまない。国内でのものづくりのこだわり「白谷でなければ!」と言われる企業をめざしている。

Company Profile

白谷電子株式会社

住所 〒571-0058 門真市小路町7-28
TEL 06-6903-0500
FAX 06-6903-5200
創業 昭和33年8月25日
資本金 1,000万円
従業員 40名
代表取締役 白谷 公一

大阪22

■主な事業内容
電子機器製造・加工、回路設計・開発

■主な取引先
大手家電メーカー、大手自動車メーカー、企業・大学研究機関、医療機関等

<http://www.usutani.co.jp>

他社には負けない 当社のもづくりセールスポイント

ものづくりにこだわり
より幅広いお客様に満足!

代表取締役 白谷 公一 さん

創業より50年、一貫して電子・電気機器の設計製造を中心に、信頼と実績を積み重ねてきました。オリジナル商品の開発にも注力し、ハイテク機器部分の設計、加工、組立までさまざまなニーズにお応えしています。